

(議事の要旨)

開始 14 時 07 分

[西田委員長]

ただいまから、平成 26 年度第 2 回教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入ります前に、本日は傍聴希望者がいらっしゃいますので、傍聴を許可したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

(傍聴者入室)

[西田委員長]

本日の会議録署名は、高木委員にお願いいたします。

本日の案件は、議案 2 件、請願審査 1 件、報告事項 1 件です。

会議の進め方ですが、まず請願審査を先に行い、その後、議案第 7 号から順次、審議を進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認め、まず請願審査を行い、その後、議案第 7 号から順次、審議を進めます。

それでは議事に入ります。

請願第 25－2 号・「日野市立日野第二小学校」の校名を「日野市立豊田小学校」に改称する請願(継続)、を議題といたします。この請願は前回の定例会で継続審査となりました案件です。その後の調査研究について、事務局より報告をお願いいたします。

○請願第 25－2 号 「日野市立日野第二小学校」の校名を「日野市立豊田小学校」に改称する請願(継続)

[兼子庶務課長]

それでは、その後の報告をさせていただきます。

その前に、前回 1,150 名の署名、請願者がおりましたが、今回、85 名追加になりまして、合計 1,235 名になりましたことを報告いたします。

それでは、今回については日野第二小学校の校長先生のほうから教育的な効果、それから学校評議員さんの声をまとめていただきましたので、ご紹介させていただきます。

まず、教育に対する効果ですが、地域の名称「豊田」が校名になることによって、児童が地域というものを、これまで以上に身近に感じ、愛着を持つようになる、そして、教員が地域との結びつきを考えた指導を、これまで以上に意図的に行うことができる。次ですが、校名について保護者や地域が考えたり話し合ったりすることによって、学校に対する関心が強まり、学校の教育活動への協力が、より積極的になる。豊田の子として地域の人に見守られ、地域の人との関わりが強くなることを通して、元気よくあいさつができるようになる。地域に育まれ、地域に対してふるさとという思いを抱くようになる。以上、4

点の意見をいただきました。

そして、学校評議員さんの声ですが三つございます。豊田小学校という呼び名は、地域の学校ということを感じさせる、是非変更したい。豊田小学校という名前だと学校の場所がわかりやすい。校歌は今でも、豊田小学校と歌っているので支障はない、校歌について連載している新聞等がありますので、そちらのほうにも応募してはどうか、というようなご意見が出ております。

〔西田委員長 〕

今、説明がございましたが、続いて前回の定例会から本日までの間に状況の変化等がありましたら、説明をお願いいたします。

〔兼子庶務課長 〕

現在、請願者の方のほうでアンケートとか、そのほかのいろいろな活動をお願いしているところでございます。これは今のところ、まだ結論出ておりませんが事務局としては、この学校長のほうの意見を今回、提示させていただきます。

〔西田委員長 〕

事務局から、その後の変化についての説明がございました。

それでは、この件につきまして、ご質問はございませんか。

〔西田委員長 〕

なければ、ご意見を伺います。

〔米田教育長 〕

平成21年の11月にPTAだよりが発行されておまして、そこに中村校長先生がPTAだよりの中に寄稿文を寄せられております。そこを私、拝見しておまして、今日の事務局からの説明と非常に大きく一致するところがございましたので、ちょっとお話ができればと思います。中村先生のおたよりの中の一節を読ませていただきたいと思います。

本校の校名を見直し、豊田小学校と改めることを考えていきたいという声をお聞きするようになりました。校歌の中で大事に歌い継がれてきた豊田小学校の名が、ときを知り蓄が膨らみ始めたような感じです。この豊田の地に開校し、地域の皆様に支えていただき、地域とともに歩み、地域の子どもたちを育ててきた本校の歴史を思い起こすとき、地域の名前をいただいた校名を名乗ることは、とても大きな意義があると思います。単に校名を変更するというものではありません。この豊田の地に根差し、その校名にふさわしい教育内容に発展させていくということに、つながらなければならないと考えます。この機会を生かして保護者、地域の皆様と学校が一緒にどんな子どもを育てたいのか、どんな学校を作りたいのかということを考えていけたら、素晴らしいと思います。

この文章を、平成21年のときに書かれていたということでございます。

私も第二小学校の学習活動の中で、郷土の学習に力を入れているということについては、私も着目をしているところでございます。例えば、この平成26年2月20日の教育センターで行われた研究発表会の中で、郷土教育推進研究委員会として二小の先生がこんな発表をされていました。

5年生の総合の時間に、探ろう田んぼのパワー豊田の地名、このことについて地域を子どもたちが歩いて、そして学習したことを子どもたちの力でまとめたという、そういう発

表がありました。

また、豊田用水の学習であるとか、それから地域の学校の歴史、それから先ほどの豊田に込められた名前にも関わるんですけども、耕地整理記念の碑の中で大正4年当時、子どもたちが学んだこと、そういう意味では学校の今進むべき方向が、このことによって更に深まっていく、地域と共有化されていくという、そういう学校の受け止めを事務局のほうから今、説明があったんだろうと思います。私も実際にあの学校に行き、それから地域の方の話も聞いておきますと、やはり学校も地域も同じ思いを持っていて、更にそれを未来に向かって発展させていこうと、それが地域に根差した生き方とともに、いわゆる地球的な視野を持った子どもたちの育成にとっても大切な教育活動だというふうに、皆さん真剣に考えていらっしゃることは、私も現場に行って、しっかりと感じるができるということでございます。

〔西田委員長 〕

ありがとうございました。たいへんわかりやすく積極的な説得力のあるお話ほか、ご意見いただきました。ほかにご意見ございませんでしょうか。

〔高木委員 〕

私自身、今、校名改称に関します校長先生からのご意見、とりわけ教育活動に対して効果が見込めるということ、それから学校評議員の皆さんも改称ということについては、概ね賛同を得られているというふうな認識を持った次第です。今もございましたように地元の方でアンケートを実施していただけるというふうに聞いていたわけなんですけど、その内容も含めて極力、我々教育委員会としては地元の皆さんの総意のもとに、改称に関する請願について、採択不採択を判断する上では、よりデータとして地元の皆さんのアンケートの内容についても、早めにもらえると判断しやすいのかなというふうにも思います。是非請願者の方にそういった、教育委員会の定例会に対しますデータの提供等をお願いしてもらいながら、我々としては最終判断につなげていきたいというふうに考えています。是非、よろしくお願ひしたいと思います。

〔西田委員長 〕

最終判断にデータの提供をということでございました。ほかにごございませんでしょうか。

〔米田教育長 〕

請願者の方が、前回お話をされていたことにも関わるんですけども、第二小学校として卒業された方々の思いをどのように大切にしていくかということ、それからもう一つ、請願者の方が保護者や地域を回られたときの反応、この二つをもう少し詳しく確認をしていく必要があるというふうに私、思います。ですから、この点を継続審議をお願いできれば、継続審議の中で更に詳しく確認をしていきたいというふうに私は思います。

〔西田委員長 〕

今、データをというところに加えて、二小として卒業していった卒業生達の気持ちをどのように大切にしていくかという点、それからそれぞれの地域、自治会等を含めて、どのような反応をされているというようなことを、その辺の資料を提供していくという、もう少し詳しく確認をしていきたいということで、本請願につきましては確認及び議論を行う必要があるという点を押さえて、請願第25-2号については、継続審査としたいと

と思いますが、いかがでございましょうか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

では、まだ確認及び議論を行う必要があるということで、継続審査としていきたいと思っています。請願第25-2号については、継続審査とすることに決しました。

ここで休憩をとりたいと思います。14時25分から再開します。

休憩 14時21分

再開 14時23分

[西田委員長]

再開します。

議案第7号・第5期日野市郷土資料館協議会委員の解任及び任命の専決処分について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第7号 第5期日野市郷土資料館協議会委員の解任及び任命の専決処分について

[清野郷土資料館長]

1ページをお開きください。

議案第7号・第5期日野市郷土資料館協議会委員の解任及び任命の専決処分について、の議案を提出するものでございます。

提案理由、第5期日野市郷土資料館協議会委員の退職に伴う解任及び任命について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため、教育長専決にて解任及び任命を行いましたので、報告し承認を求めるものでございます。

2ページをお開きください。

第5期日野市郷土資料館協議会委員、今回の解任及び任命者は学校教育の関係者からの選出でございます。解任者、中島和夫。解任日、平成26年3月31日。その他記載のとおりでございます。任命者、岡部君夫。任期は在任期間、平成26年4月1日から平成28年3月3日まで。その他は記載のとおりでございます。

以上、報告し承認を求めるものでございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結します。

お諮りします。第5期日野市郷土資料館協議会委員の解任及び任命の専決処分について、を原案のとおり承認することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第7号は原案のとおり承認されました。

[西田委員長]

議案第8号・平成26年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第8号 平成26年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について

[兼子庶務課長]

議案第8号・平成26年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について、ご説明申し上げます。

提案理由です。日野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱第3条の規定に基づき、平成26年度日野市教育委員会評価委員を委嘱するものでございます。

4ページをお開きください。

委員は明星大学名誉教授の森下恭光先生、及び実践女子大学教授の白尾美佳先生でございます。以下、記載のとおりでございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結します。

お諮りします。平成26年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第8号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

報告事項に入ります。報告事項第4号・平成26年度「選べる学校制度」実施状況、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第4号 平成26年度「選べる学校制度」実施状況

[鈴木学校課長]

報告事項第4号・平成26年度「選べる学校制度」実施状況、につきましてご報告申し上げます。

恐れ入ります、8ページをお開きください。

上段が小学校、下段が中学校になっております。

1行目の第一小学校を例にとりますと、横軸が増加数を示し縦軸が減少数を示しています。一小的横軸をご覧ください。四小小学校区から1人、七小学区から1人、南平小学区から1人、東光寺小学区から2人、仲田小学区から7人の合計12人が増加しております。

次に一小的縦軸をご覧ください。一小から三小到1人、四小到7人、五小到1人、潤徳小到12人、七小到6人、仲田小到7人が希望し、合計34人が減少しています。この結果、一小的学区内人数91人から、他学区からの増加が12名、減少が34名で入学者数は69人となったものでございます。同様に七生緑小まで入学者数が決まりまして、この結果、四小、五小、潤徳小、南平小などで学区内人数より増加し、一小、三小、平山小、七小、仲田小で減少となりましたが、増加した場合でも定員を下回りましたので、全員が希望校に入学することができております。

続いて、下段の中学校の場合でございます。

第一中学校を例にとりまして、横軸をご覧ください。四中学区から1人、三沢中学区から3人、大坂上中学区から17人、合計21人の増加がございました。

次に一中的縦軸をご覧ください。二中を希望した方が1人、七生中が1人、三中が8人、四中が1人、三沢中が8人、大坂上中が8人となり、合計27人が減少しております。この結果、一中的学区内人数241人に対して増加が21人、減少が27人となり合計の入学者数が235人となっております。同様に平山中まで入学者数が決まりまして、七生中、三中の大幅な増加、三沢中、大坂上中が大幅に減少しております。一中でございますが、学区外からの入学希望者が定員を超えましたので、優先順位を決定するための抽選を行いました。最終的には、8名の方が入学できませんでした。そのほかの中学校では全員が希望校に入学することができております。

以上のことから、選べる学校制度を利用した方は小学校で231人、全体の15パーセント、中学校では231人、全体の16.8パーセントの方が利用されているという結果が出ております。説明は以上でございます。

〔西田委員長〕

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。あわせて伺いたいと思います。高木委員。

〔高木委員〕

今、選べる学校制度におけます小学校、中学校の増減の内容について説明いただいたわけなんです、小学校、中学校の特徴点について、お伺いしたいと思います。とりわけ、いろいろなプロジェクトもやっていますので、それとの関係ですね。それからまた選べる学校制度について日野市として、こういった評価をしているのか。その2点について伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

〔鈴木学校課長〕

小学校の希望でございますけれども、やはり年齢が低いということもありまして、自宅から通学しやすい、より通学しやすい学校を選んでいるというような傾向が強いことというようになっております。中学校でございますけれども一中プロジェクト、二中プロジェクト、三中プロジェクト、いろいろやっておりますけれども、誘導策でございますが、特に部活動がやりたいとか、教育的な環境が自分に合っているとか、友達も一緒に行け

るとか、そのような理由で学校を選んでいる傾向が強いように思われます。

2点目の日野市としての評価ということでございますけれども、選べる学校制度の実施を見まして、まず校長の学校経営におけるリーダーシップが発揮できるような制度になっているというふうに思われます。2点目です、そのリーダーシップに基いて教員の意識改革がかなり図られた制度であると、授業の改善の推進や校内研究、検証を通じて、そのような傾向が強まっているように思われます。また3点目に、保護者が責任を持って学校を選んでいることによりまして、家庭の教育力が向上しているのではないかと、そのような成果が出ているのではないかというふうに評価しております。

以上でございます。

〔西田委員長 〕

ほかにご意見ございませんでしょうか。岡本委員。

〔岡本委員 〕

平成13年度から、この選べる学校制度を実施しているわけですが、その基本の考え方ですね、ベースのことは特色ある学校づくりであるというふうにお聞きしておりますけれども、今年度、26年度の主要な取り組みにもありますように、特色ある学校づくり、学校経営重点計画の見える化に向けた支援、教育委員会も支援していくと。こういうふうになっておりますけれども、事務局に2点ほどお尋ねいたします。26年度の学校経営重点計画の公表状況をどのように把握しているか。それから二つ目は新たに就任される校長先生に対しては、多分26年度、ガイダンス等において重点計画の作成を実施するに当たって、どのようなことがあるのかと、質問とか問題なりをいろいろ議論されたと思うんですけれども、その様子をお聞かせ願えればと思います。

〔記野教育部参事 〕

まず1点目の平成26年度における学校経営重点計画に関しましては、公表ということではありますが、現段階ではいわゆるホームページ等への公表は、まだなされていないという状況であります。今、計画を提出していただいて、そこで教育委員会事務局のほうでチェックを入れてから公表という段階になっていく予定であります。

それと、新たに異動してきた校長へのガイダンスでございますが、4月の当初にガイダンスを行いました、この重点計画作成に当たってのレクチャーを。主に、今年度は第2次の学校教育基本構想が策定されたということもありますので、この点を網羅をして、この学校経営重点計画を作成するというので、それぞれ新しく来た学校長へはレクチャーをしたところでございます。

〔西田委員長 〕

ほかにございますでしょうか。ご質問、ご意見あわせて。

〔西田委員長 〕

ございませんでしょうか。なければ、報告事項第4号を終了します。

〔西田委員長 〕

以上をもちまして本日の案件はすべて終了いたしました。これにて平成26年度第2回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 14時37分